

指揮: **根本 昌明**

レーベンバッハ管弦楽団

Leben Bach Orchestra

Masaaki Nemoto, conductor

L.v.ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

ヴァイオリン:
平澤 仁

交響曲 第**7**番 イ長調 OP.92

SYMPHONY NO.7 IN A MAJOR, OP.92

ヴァイオリン協奏曲 二長調

VIOLIN CONCERTO IN D MAJOR, OP.61

OP.61

コリオラン 序曲 OP.62

CORIOLAN OUVERTURE OP.62



Jin Hirasawa, Violin

2017年**7**月**1**日 [土] 14:00 開演 (13:30開場)

第一生命ホール (晴海トリトンスクエア内)

都営地下鉄 大江戸線「勝どき駅」A2a出口 徒歩8分

全席指定 S席:¥5,500 A席:¥4,500 高校生以下:¥2,000

前売りのみ ペアチケット取扱あり

* 未就学児の入場はご遠慮ください。

S席ペアチケット¥10,000 A席ペアチケット¥8,000

主催:レーベンバッハ音楽企画

後援:エイトスター・ダイヤモンド/株式会社I.H.M/合同会社オフィス・マサル・エモト/NPO法人エモト・ピース・プロジェクト
HODO世界冒険者/天使くらぶ

【お問い合わせ・チケット申込先】
レーベンバッハ音楽企画
TEL : 080-5377-3303
FAX : 046-257-3347
インターネットでのお申し込み
<http://lebenbach.com>



根本 昌明 指揮

1949年生まれ、東京都出身。公立中学校教員の傍ら1986年から10年間レーベンバッハ吹奏楽団を組織。3回の東京公演を行う。音楽雑誌等で「現代には稀な魂の芸術家」と絶賛され、全国にファンをもつ。1996年新星日本交響楽団を振り楽壇デビュー。2001年プロ奏者を組織し、レーベンバッハ管弦楽団演奏会。

2002年指揮者・リコーダー奏者に専心。2007年、2008年プロ奏者を組織し、レーベンバッハ吹奏楽団演奏会。2010年東京フィル、二期会合唱団を振り、「第九」&「皇帝」。同年12月プロ奏者を組織し、レーベンバッハ合奏団演奏会。2011年プロ奏者を組織し、レーベンバッハ管弦楽団演奏会「モーツァルト賛」。2012年12月調布、福島市にて、東京ニューシティ管弦管弦楽団、東京合唱協会を振り、「第九」東北復興支援チャリティーコンサート。2013年10月、2014年10月、2015年1月東京合唱協会を指揮。2015年5月神奈川と東京、7月には福島にてプロ奏者を組織しレーベンバッハ合奏団演奏会を指揮。2016年1月福島・東京・海老名にてレーベンバッハ混声合唱団ニューイヤーコンサート3公演を開催。5月には横浜みなとみらいホールにてレーベンバッハ合唱団、アンコール公演。2016年7月からベートーベン交響曲チクルス(連続演奏会)プロジェクトを推進中。交響曲第3番&第7番。2017年1月交響曲第5番&第6番。6年前の東日本大震災以降、毎年「東北復興支援コンサート」を開催。ライフワークとして取り組んでいる。HP: <http://lebenbach.com>



平澤 仁 ヴァイオリン

5歳よりヴァイオリンを始め、1981年東京芸術大学音楽学部に入學。1985年同大学院に進む。同年、第54回日本音楽コンクール(毎日新聞社・NHK共催)に入選。1986年より国際ロータリー財団奨学生として、ジュリアード音楽院に留学。1988年、同音楽院の修士課程を修了、帰国と同時に東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターに就任。以来、二十年余に渡って定期演奏会、新国立劇場のオペラ、バレエ公演など

の重責を果たし、現在はソロ活動に専念。在団中もソリストとしてメンデルスゾーン、チャイコフスキー、コルンゴールドなどのヴァイオリン協奏曲も演奏している他、1991年より定期的に東京文化会館にてリサイタルを開催し研鑽を重ね、2014年の渋谷さくらホールでのリサイタル(ピアノ・竹村浄子)は特に好評を博した。

室内楽でも各地の音楽祭に出演。マルタ・アルゲリッチ、イヴリー・ギトリス、ポール・メイエら内外の著名アーティストと共演している。

これまでに、広瀬悦子、田中千香士、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫の各氏に、また室内楽をヤコブ・ラタイナー、サミュエル・ローズの各氏に師事。

ナミ・レコードより発売されたソロCD「虚空はるかに」(WWCC7380)は、各方面で高い評価を得ている。使用楽器はストラディヴァリウスやグアルネリ・デル・ジェスとも並び称されるカルロ・ベルゴンツィ(1736年作)。

現在はこれまでの経験を生かした各オーケストラへのコンサートマスター客演に加え、多彩なソロ活動を繰り広げている。

公式サイト <http://j-musik.com/jinvn/>

前回のベートーヴェン交響曲 チクルスVol.2のアンケートから

☆ 私は今までに何回かオケの演奏を聴いたことがあります。しかし指揮者の思いがストレートに表現される演奏は初めてで、運命の冒頭から涙が溢れました。これも初めての経験です。レーベンバッハ合唱団の場合もそうですが、表現したい音楽が明確であると言う事はとても大切な事です。それを根本さんは持っていच्छやる。

☆ ベートーヴェンの「運命」をこれ程までに愛情を込めて指揮できる人は他にいないのではないだろうか？出だしのフレーズだけで会場が涙に溢れる！一瞬のどよめきがあり、その後あちこちで鼻水をすする音や目を拭う仕草が見受けられる。指揮者、根本さんの「平和」への思いがベートーヴェンの想いと重なって ひたひたと胸を一杯にする。最後は汗ばむ程、体の芯が熱い。指揮者も演奏も会場も一貫して優しさに溢れていた。

☆ 世界に誇る演奏でした。素晴らしい調和のうねりが音楽を通して会場に溢れていました。新しい時代の息吹き溢れる感動ね来な時を過ごさせていただきました。素晴らしいです。

☆ 涙が出て止まりませんでした。指揮者と演奏者とベートーヴェンの思いがひとつになって心に直接しみ込み、今まで何回も聴いてきた曲がこんなに素晴らしいと感動しきりでした。

☆ これまで無数の「運命」を聴いてきましたが、今日の「運命」は最高でした！ゆったりしたテンポで深々と歌われた第2楽章。雄大なアルプスの姿がゆっくりと全容を表しました。そして、デモーニッシュな第3、4楽章。ベートーヴェンの魂と向き合い、対話するような時間でした。

☆ これまでに経験がないほどのあまりにも衝撃的な生演奏を初めて聞かせて頂いた。その時の無限に広がる感動を、2週間が経過した現在でも未だに絶え間なく私の心身全身に渦巻き続けているのだ！



第一生命ホール
(晴海トリトンスクエア内)
〒104-0053
東京都中央区晴海1-8-9